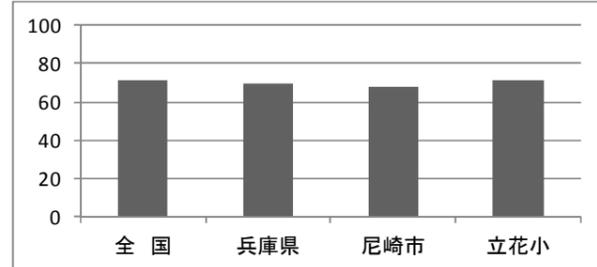


【全国学力・学習状況調査(6年生)の結果について】

4月17日に実施しました全国学力・学習状況調査の結果が出ましたので、ご報告いたします。

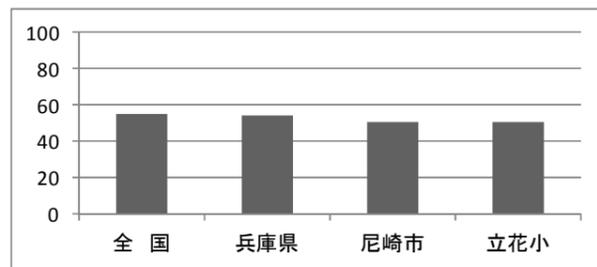
国語 A (知識)

|     | 全体 |
|-----|----|
| 全 国 | 71 |
| 兵庫県 | 70 |
| 尼崎市 | 68 |
| 立花小 | 71 |



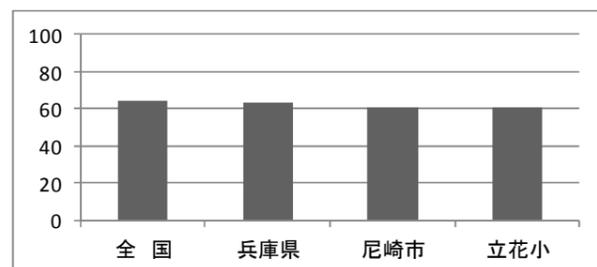
国語 B (活用)

|     | 全体 |
|-----|----|
| 全 国 | 55 |
| 兵庫県 | 54 |
| 尼崎市 | 51 |
| 立花小 | 51 |



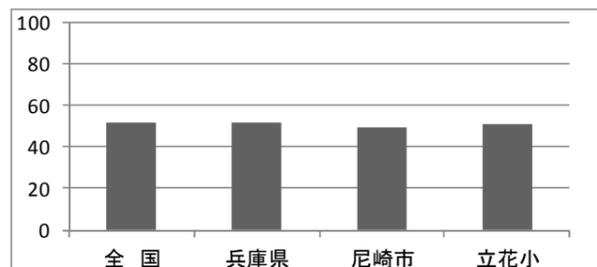
算数 A (知識)

|     | 全体 |
|-----|----|
| 全 国 | 64 |
| 兵庫県 | 63 |
| 尼崎市 | 61 |
| 立花小 | 61 |



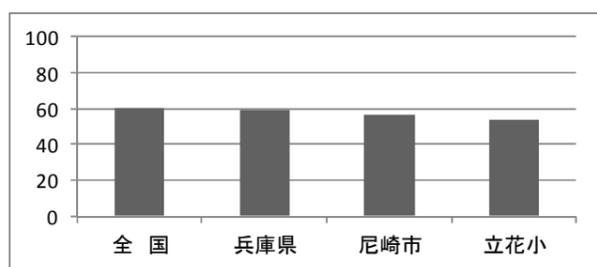
算数 B (活用)

|     | 全体 |
|-----|----|
| 全 国 | 52 |
| 兵庫県 | 52 |
| 尼崎市 | 49 |
| 立花小 | 51 |



理科

|     | 全体 |
|-----|----|
| 全 国 | 60 |
| 兵庫県 | 59 |
| 尼崎市 | 56 |
| 立花小 | 54 |



これらの結果から・・・

- 国語Aでは、「相手や目的に応じ、自分の伝えたいことについて事例などを挙げて筋道を立てて話す」や「漢字を文の中で正しく使う」の問題についての正答率は、全国平均を上回りました。しかし、「目的に応じて必要な情報を捉える」や「登場人物の心情について情景描写を基に捉える」という問題に課題が見られました。
  - 国語Bでは、「目的に応じて複数の本や文章を選んで読む」や「文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にして読む」という問題で全国平均を下回る結果となりました。
  - 算数Aでは、混み具合を比べる「単位量当たりの大きさ」に課題が見られました。
  - 算数Bでは、「図形」の正答率は全国平均を上回りました。記述式の問題は全国平均を下回る結果となりました。また、「棒グラフとグラフの読み取り」の問題に課題が見られました。
  - 理科では、全体的に全国平均を下回る結果となりました。その中でも特に「流れる水のはたらき」と「からだの仕組み」の問題に課題が見られました。
  - 児童質問紙では、自然に親しむ態度や毎日、規則正しい生活をしているという質問では全国平均を上回りました。それに対して、地域との関わりが少なく、理科の授業で計画を立てて実験したり、実験結果から考察したりする力は、全国平均を下回りました。また、学習で得たことを普段の生活に役立てようという意識が低く、家で計画を立てて予習・復習をしている児童も少ないという結果がでました。
- 6年生には、個人懇談会日に下の個人表を配布し、結果について詳しくお知らせします。

<国語>



<算数>



今後の取り組みとして・・・

- 今年度の学力テストでは、国語、算数は、ほぼ全国平均に近い結果となりましたが、理科は全国平均を下回る結果となりました。この結果を踏まえて次のような取り組みを実践していき、子供たちの学力向上につなげていきたいと思ひます。
- ・宿題は、音読・漢字・計算を基本として、立花ノートや演習プリント等も適宜取り入れ、基本的な知識の定着や語彙力、読解力の向上をはかります。
- ・3学期より、学習タイムの週2日(火・水)を算数タイムと位置付け、計算力や既習事項の定着をはかっていきます。
- ・全学年で春休みを利用して、1年間の学習内容の定着をはかれるような課題を出す予定です。
- ・立花ノートをさらに充実させていくために、学力を高めるような取り組みを各学年で検討していきます。
- ・引き続き児童の実態を把握し、書く力の育成や読解力の向上をはかる授業の改善・工夫をしていきます。

今後とも、学力を高め心身ともに健康な児童を育てていけるよう学校と家庭と地域でしっかり連携していきたく思ひます。ご理解とご協力をよろしくお願いいたひます。

